

移住者座談会

～ Migrant Roundtable Discussion ～

今回、くりやま焼ようへい（松風2・旧りんごの木）をお借りし、移住者の3人との座談会を開催しました

こしもと えりさ
腰本 江里沙 さん

雄武町出身。令和元年より移住コーディネーターとして、町と移住者をつなげる役割を担う

つちや あやか
土屋 綺香 さん

令和3年に移住。東京で会社員として勤務後、食に関わる仕事を求め、地域おこし協力隊に就任

埼玉→東京→栗山

移住コーディネーター

札幌→栗山

きさか ようへい
木坂 洋平 さん

令和4年に移住。一昨年閉店したお好み焼き店「りんごの木」の味を引き継ぎ営業している

むらの しょうこ
村野 晶子 さん

令和3年に家族3人で移住。趣味は家庭菜園で、お隣さんとても仲良しです

東京→札幌→栗山

「移住」
ここが私の選ぶまち

特集



夢・食・自然
それぞれの栗山の出会い

皆さんが移住したきっかけ
はどのようなことですか？

村野さん・・・夫が突然「北海道の農業に携わりたい」と決意し、脱サラして家族3人で移住しました。農業が盛んな町を探しており、他の候補はありませんでしたが、空港や札幌へのアクセスの良さが移住の決め手になりました。岩見沢に住むことも検討しましたが雪が多いため、過ごしやすさを重視して選びました。

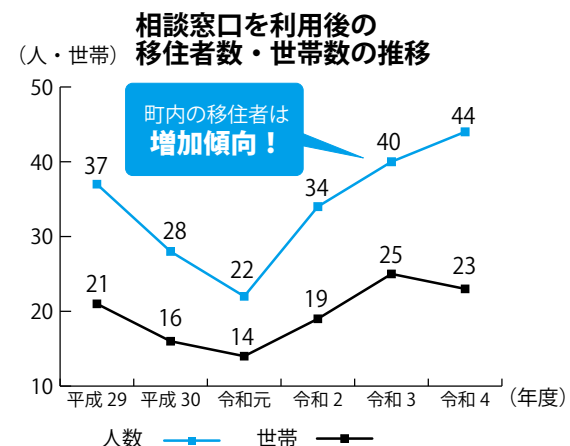
土屋さん・・・食に関する仕事を探していたので、ネットで栗山の地域おこし協力隊の募集を見つけ、選考を受けました。下見に栗山を訪れた際、スーパーやコンビニ、豊かな自然環境があるだけでなく、田舎初心者でも過ごしやすい「ちようどいい町」だと感じ、ここに決めました。また、少しの車移動と飛行機で関東へ帰省できるので、栗山からの移動はすごく便利だと思っています。

木坂さん・・・札幌で福祉関係の仕事をしていましたが、体調を崩したことで、少しのんびりできる地域で生活をしたいと思っ

人口減少は、全国の自治体が抱える大きな課題です。栗山の高齢化率は約42%であり、2040年までには50%を超えることも予想され、少子高齢化が顕著となっています。

そのような状況を踏まえ、本町では移住促進に力を入れていきます。近年コロナ禍の影響で、地方移住の関心が高まり「家族で移住する方」「夢を追いかける方」「仕事を求めて来る方」などさまざまな理由で本町に移住しています。

今回は、栗山に移住した3人と、日頃から相談者と町の橋渡し役として奮闘する移住コーディネーターに取材し、町の魅力や栗山町への移住のきっかけなどをお聞きしました。



協力隊として、食に関する活動を行う土屋さん

ていました。たまたま栗山の友人のもとへ遊びに行った際、弱っていた自分の目に映った、とてもきれいな景色が心にジーンとくるものがあり、勢いすぐに移住を決めました。その後ご縁をいただき、現在はお好み焼き屋「くりやま焼ようへい」を元気に経営しています。

最初の難関は「家探し？」
移住コーディネーターの存在

移住したときに苦労したことはありましたか？

村野さん・・・最初の家探しですね。とても苦労しました。

土屋さん・・・同じくです（笑）難航しました。私の場合、道外なので、何度も通えないですし。

村野さん・・・最初は大手不動産会社のネット情報で探していましたが、なかなか条件が合わなかったです。そんな状況を役場に相談したところ、移住コー



村野さん・・・ありましたね。腰本さんに誘われた時は驚きました。たが「東京に行けるのラッキー」と喜んで参加しました。

土屋さん・・・同じくです（笑）

腰本さん・・・イベントをきっかけにその後移住体験に來られた方もいて、お二人に参加いただき感謝しています。

ちようどいい距離感で
人とのつながりを感じる生活

——最後に移住してからの感想や今後について教えてください

土屋さん・・・私は町の人の距離感がすぐちようどよくて、

とても居心地がいいなと感じています。もっと田舎の町だと、必ずみんな仲良くしないと生活していけない、というイメージもありますが、皆さん温かく、久々に会う方も「元気にしていたかい」などといって迎え入れてくれる印象があります。都会から來た私でもすんなりと受け入れられるのちようどいい距離感が過ごしやすいです。

村野さん・・・公園をはじめ広い自然豊かなところが多く、とても子育てがしやすいと感じています。農家の友だちの家に遊びに行ったり、子ども同士で田植えや稲刈りなどもしています。今後も自然と触れ合いながら親子で成長していきたいですし、夫が行う新しい事業のサポートもしていきたいと思っています。あとは家庭菜園を頑張ること、土屋さんの食のワークシヨップにも参加していきますね（笑）

土屋さん・・・ありがとうございます（笑）栗山は本当に美味しいものが多いです。活動を通じて農家さんの知り合いがたくさんできました。今後もつながりを大切にしながら、食の魅力を町内外に発信していきたいと思っています。

木坂さん・・・先ほども話した通り、伝統ある「りんごの木」か

とて「ま^{※3}」の魅力アップ事業交付金」を活用してイベントも実施できたので、そういった面で町が応援してくれる環境が整っていると感じました。

村野さん・・・平日は仕事でバタバタしていますが、週末には趣味の家庭菜園を楽しみながら、子どもとのびのびと過ごしています。我が家のお隣さんがいつも親切で、その猫ちゃんたちにもとても癒されています（笑）また、親子で栗山公園やオオムラサキ館にも遊びに行つており、スタッフさんがいつも子どもたちに囲まれた人気者で、すごくいい場所だなと思っています。

腰本さん・・・お二人には東京で行った移住イベントにも参加していただきました。移住者としてのお話しや、土屋さんの手掛けた町産食材の特製料理を提供し、おいしいと参加者から大好評でした。大変良かったです。

移住イベントで大好評だった土屋さんの特製料理。町では道内外で年10回以上の移住イベントで町のPRを行っている

夫の桂一さんと6歳の娘さん。桂一さんは農業者などを対象とした出張全体の事業も予定しているとのこと

ら引き継がせていただいた味を守りつつ、もっと店のことを知ってほしいです。また、音楽活動やパステル画の制作なども行っているの、町の皆さんと一緒に楽しめる機会を作っていたらと思います。

腰本さん・・・木坂さんってかなり多才ですよ。店内や学校で料理や音楽、美術の教室をやつても面白いと思いました。

木坂さん・・・どれも特筆すべきものがないだけです（笑）ただ、昨年は栗山高校美術部の皆さんとパステル画を制作しました。元気な部員たちと一緒にとてもいい作品ができて楽しかったです。このようなことが今後もできればと思います。

——皆さん貴重なお話しをありがとうございました！

移住や空き家の相談を受け付けています。お気軽に問い合わせください。

【問い合わせ】
若者定住推進課
☎7521

人の魅力は、まちの魅力

移住促進の仕事をしていると、どの場面でも町民の皆さんが快く協力してくださり、そのたびに心が温まります。

実際に栗山に足を運ぶ移住検討者さんたちからは、町内で出会った方々とのお話が印象的でしたとの声がよく聞かれます。

「人の魅力」まちの魅力」だと私は思っています。移住イベントでも、栗山の魅力は「人」であるといつも話しています。遠くにお住まいのご家族や知り合いで栗山に住みたい方がいらつしやいましたら、ぜひ役場の相談窓口にお越しください。この町に魅力を感じ、楽しく暮らす人がひとりでも多く増えるといいなと思います。

移住コーディネーター
腰本 江里沙

引き継いだ伝統の味
交流が生んだ新たな出会い

——こちらの店はどのように開業されたのですか？

木坂さん・・・もともと、父が広島出身で、私も長年町民の方に愛された「りんごの木」の存

在は聞いており、とても興味をもっていました。その後、元店主の福原誠一さんと父と一緒に話しする機会があり、引き継がせていただきたいという思いを伝えると、快く認めてくれました。現在は私と両親で切り盛りしており、以前からのお客さんや同じ移住者の方にも多くご来店いただき、人とのつながりの大切さを感じる日々です。また、開業にあたり、町の空き店舗の活用支援金を活用しました。ちようど対象地区が広がったばかりで大変助かりました。

腰本さん・・・はい。私も腰本さんに相談しました。予算をはじめ、運転が不安なこともお話しするなど親身に相談に乗っていただいたことを覚えています。最終的には町内の不動産屋さんを紹介いただき、アパートが見つかりました。移住者対象の交流会にも参加し、皆さんとても温かく、交友が深まりました。

土屋さん・・・当時は移住の相談窓口は知らなかったです・・・。交流会も知らずもつと早く腰本さんに出会いたかったです。



元店主の福原さん（左）。「彼の素直な性格を見て快諾しました。つながりを大切にしながら頑張してほしい」と話す

移住者の暮らし
新たなつながりの一歩へ

——土屋さん・村野さんの生活や活動について教えてください

土屋さん・・・現在は協力隊として町の食に関わる仕事をしており、最近では栗山煉瓦創庫くりふとのキッチンワークシヨップにも携わっています。自主活動



移住イベントで大好評だった土屋さんの特製料理。町では道内外で年10回以上の移住イベントで町のPRを行っている

家探しのオススメ

※1 栗山町空き家バンク

空き家所有者は物件を登録し、利用希望者は登録物件を、ネット上で閲覧できます。



開業・スタートアップ

※2 空き地空き店舗活用支援金

空き店舗、空き地を活用した新規出店を促進のため、開業の初期投資経費を支援します。



団体・サークル活動

※3 まちの魅力アップ事業交付金

町民団体相互の連携による新たな活性化事業を応援するための交付金制度です。

